

寄宿舎便り



令和5年9月29日発行

第8号

文責 菅

お月見の飾りを作りました！！

9月11日（月）、12日（火）下校後に各棟の談話コーナーで紙粘土を使い、お月見の飾り作りを行いました。寄宿舎西側玄関に三方やかぼちゃ、さつまいも、栗、りんごなどと一緒に舎生の飾りを飾っていますので、是非、来舎時にご覧ください。



☆男子棟の様子☆

「何をつくる？」と質問をすると、全員が「団子！」。粘土を小さくちぎり、『まるまる、ツルツル』を目指し黙々と丸めました。折り紙で作った三方と笹に並べる際、並べ方や数をネットで調べ、オリジナル作品の完成。「丸くするのは、難しかった。」、時間をかけたけどツルツルにならなかった。」「次は、あまい香りがする団子を丸めたいなあ。」の声が聞こえてきました。（田川）

♪女子棟の様子♪

大小の団子や立体的なウサギ、団子を食べている人、食べ物などを作り、それぞれの思いのこもった素晴らしい飾りが出来上がりました。「楽しかった」、「今度は、もっともっと大きな作品を作りたい！」と、感想が聞かれました。来年も楽しみですね！（中村）



勉強してきました!!



夏休み期間中の7月25日(火)から28日(金)にかけて、第98回令和5年度全日本盲学校教育研究大会・北海道大会に行ってきました。

NPO法人モンキーマジック代表理事で、一般社団法人日本パラクライミング協会共同代表の小林幸一郎様より、「ライフイズクライミング～見えない壁だって、越えられる～」という演題で御講話いただき、「小さな挑戦が人生を変える」「即動力が大切である」「挫けたときには必ず文字におこす」等が心に残りました。

また、2日間に渡って開かれた生活分野の分科会では、九州地区代表として、本校寄宿舎のコミュニケーションやセルフケアに関する発表もさせていただきました。

4日間をとおして、全国各地の代表校の実践例を聞くことができ、視覚障がい教育についてあらためて深く考える機会となりました。また、点字使用者への配慮や手引き誘導時の配慮、子どもたちが社会へ出ていくまでに必要な生活スキル等について、たくさんの学び直しもさせていただきました。

私が出た見識を他の職員とも共有し、寄宿舎生へ精一杯の支援を講じ、共に実践していきたいと考えています。あらためまして、2学期も寄宿舎への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。(村上)

熊本県寄宿舎教育研修会

8月7日(月)、県内の寄宿舎職員合同の研修会を行い、「子どもたちを社会に送り出す寄宿舎指導員の役割」のテーマのもと、御講話をいただいたり、協議を行ったり、学びを深めました。研修の1つとして、本校の3名の保護者の皆様に御協力いただき、寄宿舎入舎前、入舎中、卒業後における保護者の方々の思いを聞かせていただきました。会に参加した他校の先生方からも、「保護者の方々の思いを直接聴くことができ、とても良かった」という感想がたくさんありました。打ち合わせから当日までお忙しい中、職員のためにお話していただいたことに感謝申し上げます。講話では、日々の業務について振り返り、分科会協議では、他校の寄宿舎の先生方と意見を交わしました。今回学んだことを、今後活かしていきたいと思っております。(管)



新職員紹介



9月から男子棟に赴任しました。

どうぞよろしくお願いいたします!

名前 山下 絵里佳 (やました えりか)

趣味 スポーツ観戦・音楽鑑賞

座右の銘 笑って損した者なし

アピールポイント

楽しいこと、歌ったりする事が好きです。

みんなにメッセージ みなさんの名前と顔を早く覚えて、毎日、楽しく生活したいと思っています。たくさん、お話ししましょう。

10月行事

2日(月) 不審者対応盲聾合同訓練

3日(火) 誕生者紹介放送

5日(木) 双葉会役員会

27日(金) 寄宿舎だより第9号発行



いつのまにか寄宿舎玄関西側花壇に芽生えていた朝顔。9月に入り、花が咲き始めました!